

第15回 落語 in おちや! 全国素人名人会

出演者紹介

春乃 そよかぜ (はるの・そよかぜ)



本名：田邊颯花（たなべ・そよか）。2007年、兵庫県豊岡市生まれ。たんたん落語笑年団に所属。今年6月に永楽館で行われた「第5回全国子ども落語大会」で最優秀賞を受賞。但馬での定期的な落語会にレギュラー出演。老人会や敬老会の人気者。近大豊岡中学校3年生。

秋風亭 てい朝 (しゅうふうてい・ていちょう)



本名：沖博義（おき・ひろよし）。1956年、広島県生まれ。(株)NTTファシリティーズの営業マン。長年、広島演芸協会の会長を務める。「てい朝の落語をぶつ会」は26年目で61回を数える。広島で落語教室の講師を務め、地元アナウンサーにも落語を教えている。夢は90歳まで落語を続けること。

南遊亭 栄歌 (なんゆうてい・えいか)



本名：塩崎明洋（しおざき・あきひろ）。1957年、三重県生まれ。三重県津市の総合病院内科勤務の医師。三重大学落研で落語をはじめ、社会人になってからは三重・「寝床の会」、愛知・社会人落語「楽語の会東海支部」に所属。落語をするかたわら、笛・太鼓などの下座にも傾倒。本人は「下手の横好き」というが、ウクレレからゴルフまで趣味は幅広い。

参遊亭 遊若 (さんゆうてい・ゆうじゃく)



本名：若田部真紀（わかたべ・まき）。年齢不詳。埼玉県生まれ。グラフィックデザイナー。埼玉県内で落語会のボランティアをするうちに地元愛に目覚め、都内から埼玉に転職。三遊亭遊三師匠の実践落語教室、越谷サンシティ落語研究会、東京アマチュア落語研究会、楽語の会東海支部など6つの会に所属。

粗忽家 酔書 (そこつや・よいしょ)



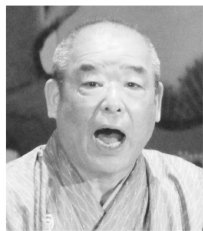
本名：桶川律暢（おけがわ・りつのぶ）。1960年生まれ。鳥取県出身で、福岡県在住。私立高校の教員。大学で落語研究会に入り、卒業後、「宗像落語会」を結成。2007年から始めた「ゆりっくす日曜百円寄席」は今年度で16年目になる。落語だけでなく独学で身に着けた紙切りで寄席を盛り上げる。また、太鼓も上手くプロの落語会でもバチを握る。

竜宮亭 無眠 (りゅうぐうてい・むーみん)



本名：井上信行（いのうえ・のぶゆき）。1964年、神戸市生まれ。技術系のサラリーマン。23年間の岐阜生活の間に「楽語の会東海支部」を立ち上げ、名古屋を中心に広く公演数を増やし、東海地区での活動を確立する。現在は兵庫県明石市に在住。軽妙な語り口、持ちネタの数の豊富さにはプロも舌を巻く。

春歌亭 丹馬 (しゅんかてい・たんば)



本名：田中久典（たなか・ひさのり）。1953年、兵庫県丹波篠山市生まれ。高校講師。「たんたん落語会」を結成し、地元各地で定期寄席を開催しているほか、敬老会、高齢者学級、PTA総会、各地の文化祭など、あちこちに出演。笑福亭鶴笑師とのプロ・アマ共演の落語会も開催。また、出石永楽館での「全国子ども落語大会」の事務局長もつとめる。

下座紹介 千里家 一福 (せんりや・いっぷく)



本名：土井道渡（どい・みちと）。1984年、大阪府生まれ。システムエンジニア。「高石落語集団パンセの会」、「社会人落語集団天狗の会」に所属。関西大学の落研（落語大学）で三味線に出会い、寄席囃子の魅力に取り附かれる。あちこちの落語会に顔を出し、三味線を弾いている。太鼓は粗忽家酔書ほか、笛は南遊亭栄歌。